



だいこん



発行日：令和6年1月9日

1. 卸売価格の動向

○86円/kg（1月5日）

➤ 平年比：92%

○1月の価格見通し

前半：平年並みで推移

後半：高値水準で推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○151円/kg（12月全国平均）

➤ 前月比：80%、平年比：131%

➤ 東京：154円（1本）

➤ 大阪：204円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：7/20（前月6/20）

➤ 大阪：5/10（前月2/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○439g/人（11月全国平均）

➤ 前月比：118%

➤ 前年同月比：98%

○3,653g/人（2022年年間）

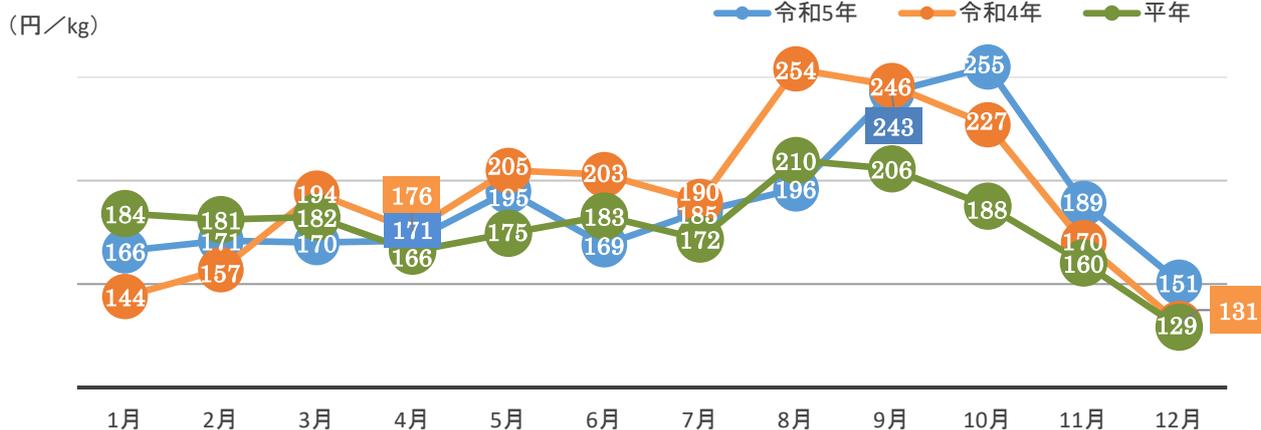
➤ 前年比：92%

（総務省統計局家計調査）

4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. だいこんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
福井県福井市木田 (11/26)	減少	平年並み	早い	やや早い
静岡県JAハイナン (12/22)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
和歌山県和歌山 (12/19)	前年並み	平年並み	早い	早い
徳島県里浦 (12/15)	やや減少	平年並み	早い	早い
福岡県福岡市 (12/13)	増加	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



和歌山県和歌山：選別の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (01/06~02/05)

週別の天候				
1/06~1/12	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、低気圧などの影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
1/13~1/19	北日本日本海側では、低気圧や寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雪の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、低気圧などの影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧などの影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧などの影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
1/20~2/5	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
	平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)	
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並見込み
東日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並見込み
	太平洋側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み
	太平洋側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮その他根菜類) ※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

○169トン (11月輸入量)

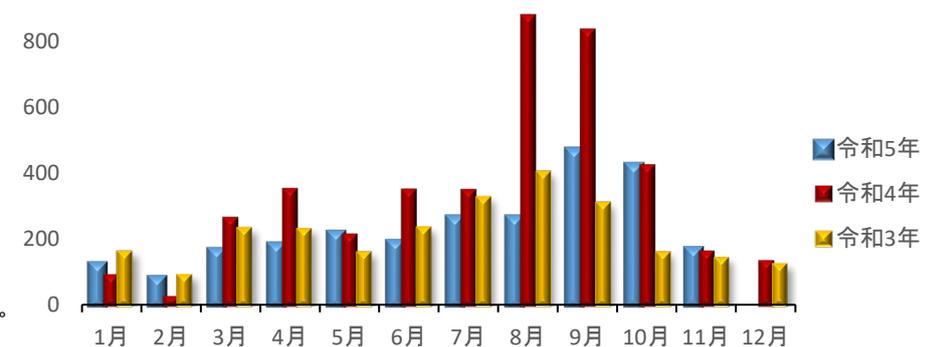
➤ 前年同月比: 104%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 156トン
- 2位 オランダ 10トン
- 3位 ベルギー 3トン

※平成30年4月より税番改正があったため平年比なし。
(財務省貿易統計)

1000 (トン)



9. 一口メモ

12月は、千葉産、神奈川産などの生育、太りが前進化したことから入荷量は安定し、平年を上回っていた価格は、下旬には平年を下回ってきました。

1月は、これまで前進入荷気味であった千葉産、神奈川産などの入荷量が後半に落ち着くことから、市場入荷量は後半に減少し、価格は前半が平年並みで推移しますが、後半には平年を上回る見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探: <https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793